

(様式)

平成29年度 津山市立加茂小学校 学校評価書

校長 久永浩輝 印

1 自己評価

I 評価結果

項目	成果と課題（達成状況）	評定
「確かな学力」を育成する。	学習規律の定着とともに落ち着いた学習ができた。授業で話し合いや相互評価をするものが増えた。自主学習の取り組みが各学年で進んだ。「校長プリント」の実績もあがった。	A
「やさしく思いやりのある子」を育てる。	人権に関する授業が計画的にすすめられた。「人権の木」の取り組みも実績があった。児童会の「レベルアップ集会」実施など、学年に応じた人権意識高揚の活動が進んだ。	B
地域や保護者と協力した児童の指導。	学年に応じて地域の特色を生かした体験活動が進んだ。小中連携は児童会の交流などを基軸に発展できた。地域とともにある学校の意識付けが定着した。	A

(A：目標を上回っている B：ほぼ目標どおり C：目標を下回っている)

II 分析・改善方策

学習規律の定着とともに落ち着いた学習ができています。また家庭学習の取り組みについては、下学年は宿題、上学年はそこに「自主学習ノート」の取り組みが定着した。算数の「割合」に弱点があるので系統的な学習を計画する必要がある。自発的な児童会の活動が伝統的に引き継がれている。今後もうまく指導したい。「終礼」における教職員の共通理解の時間は有意義であり、さらに一体感のある教職員集団をめざす。

地域とともにある学校づくりが進んだ。小中連携の発展を期すとともに、さらに連携・協力をすすめる。

2 学校関係者評価委員会

八木恵三子・須田京祐・平山淑子・宇佐美七重・高矢美諭紀・志水信宏

3 学校関係者評価

児童の落ち着いた様子がよい。学校組織全体で子どもたちの「学びたい思い」に応えている。教職員の「教えたい思い」を感じられる。広い意味で児童にさらなる学びの成果を期待する。

4 来年度の重点取組（学校評価を踏まえた今後の方向性）

「学びたい思い」に「教えたい思い」で応えていく学校づくり

(1) 落ち着いた学習環境づくりに努め、安心・安全な学校づくりを行う。

(2) 学力の向上を図る。

(3) 豊かな心の育成を図る。

(4) 開かれた学校・地域とともにある学校づくりを推進し、保護者や地域から信頼される学校づくりをすすめる。

